



▲スタートから飛ばし、ライバルと差をつけます

水しぶきの音が響き渡るプール。両手で水を力強くかき寄せ、息継ぎのために顔を水面からのぞかせます。平泳ぎで滑らかに進んでいくのは三原スイミングスクールの中川元君です。先月末、東京都で開催された第40回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会の11、12歳の部に出場しました。

4歳のときにプールに通い始めた中川君。当初は体力づくりのために泳いでいたと振り返ります。「もっと速く泳げるようになっていたい」と思うようになったのは、小学1年生のときに初めて出場したレース。満足がいく泳ぎができていたにも関わらず、ターンの原因で失格を告げられました。「悔しかった」。週6日、1日に約2.5kmを泳ぎ込むだけでなく、ターンやスタートなどの技術面を磨くことにも取り組むようになりました。「メンタルは強いほうではないし、練習もしんどいけれど、仲間と一緒に泳いだり、レースの内容について話したりするのが好き」と、はにかみます。

日々の努力が実を結び、数々の大会で入賞。2月に行われた記録会で自己ベストを更新するとともに標準記録も突



破し、ジュニアオリンピッククへの切符を初めてつかめました。5年前から中川君を指導するコーチの酒井豪さんは「泳ぐことへの意欲と集中力が抜群。さらに伸びると思う」と期待を寄せます。

今月から宮浦中学校に通う中川君。ジュニアオリンピックの13、14歳の部に出場するという次の目標に向け、「スピードをもっと磨いていきたい」と今日もひたむきに泳ぎ続けます。(取材は大会前の3月初旬に行いました)

※このコーナーでは、スポーツや文化・芸術活動などに情熱を注ぐ若者や子どもたちを紹介します。

## 若者 × 情熱

ミハラのチカラ

STORY 25

### 平泳ぎで全国の舞台へ

三原スイミングスクール

中川元くん

## 写真・絵を募集しています

### テーマ

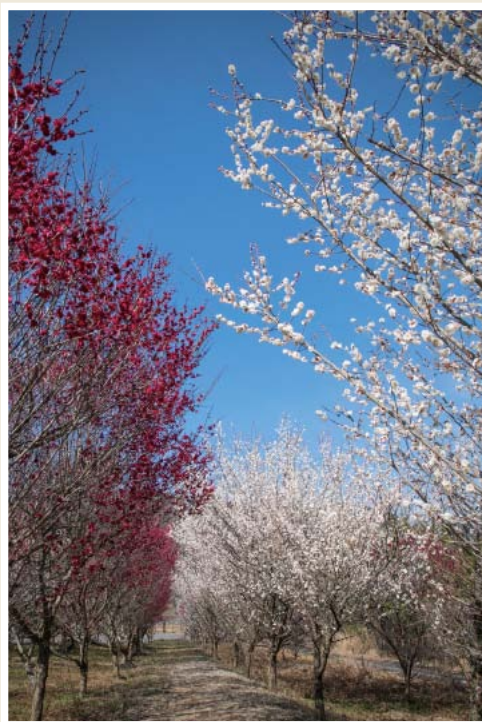
～あなたが残したい三原の風景～

**応募資格** 市内在住・在勤・在学の人  
**選考** 秘書広報課で選考

※応募作品の著作権は市に帰属し、市の公式フェイスブックで紹介させていただく場合があります。

※応募作品は返却しません。

**申し込み** 郵送またはEメールで写真(L判・データ)か絵(大きさは画用紙A3サイズまで)と①名前②住所・電話番号③撮影・制作日④撮影・題材場所⑤作品名⑥作品エピソード(70字以内)を秘書広報課(〒723-8601港町三丁目5番1号 ☎0848・67・6007 ㊚somukoho@city.mihara.hiroshima.jp)へ



### 作品エピソード

**西野の梅林**  
撮影者 清政健一さん  
地域の皆さんが浄水場近くに整備している西野梅林。毎年、きれいな紅白の花を咲かせています。  
●撮影年月 平成30年3月  
●撮影場所 西野浄水場横